

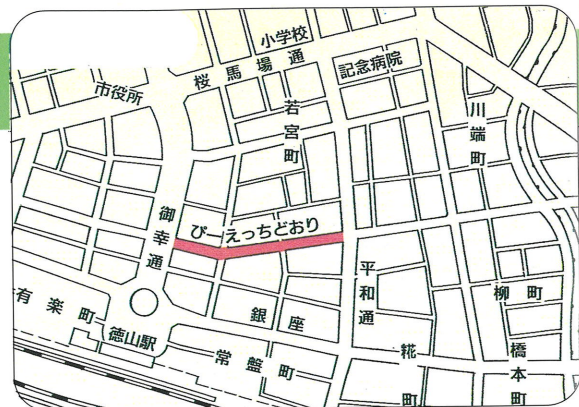
都市計画道路 大迫田代々木線 街路事業

(徳山市)

■表彰対象者：徳山市 (財徳山市都市開発事業団)

表彰の理由

事業実施にあたり地元商店街が協同組合を結成し、街路灯の電気料の支払いやフラワーボットの維持管理も協同組合が行うなど、極めて協力的であり、官民一体となって市民の憩いの場を創出したことが評価された。



ボンネルフ方式で整備された歩道



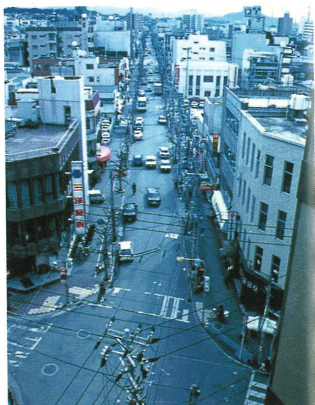
歩道部のふくらみに設置された植樹帯



街路にマッチした電話ボックスと街路灯



整備前



整備後

事業の効果

大迫田代々木線の「ピーえっちどおり」商店街は、本事業により、業務施設の更新が積極的に進められ、店舗等も市民意識の多様化にそった個性のある近代的な意匠が取り入れられ、商業活動の活性化が図られてきて、若者層も多く集まる様になった。

また、年に数回、歩行者天国としても開放され、市民の憩いの場、交流の場としても定着してきている。

- 延長：300M
- 幅員：15M (車道4.0M～8.0M・歩道3.5M～7.5M)
- 全体事業費：154.3百万円
- うち街路事業費：154.3百万円
- 事業期間：昭和53年度～平成元年度

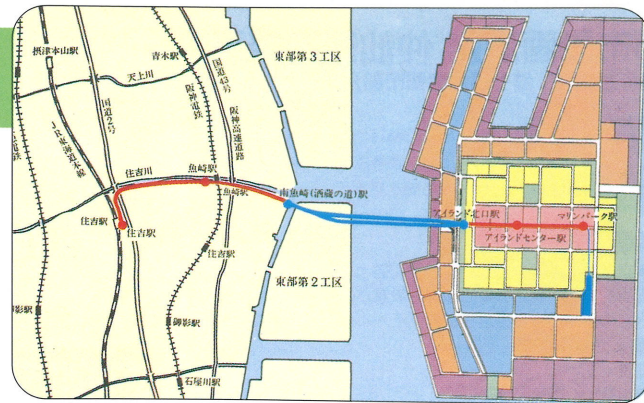
神戸新交通六甲アイランド線 整備事業

(神戸市)

■表彰対象者：神戸市企画調整局 神戸新交通株式会社

表彰の理由

ポートアイランドにつぐ第2の海上文化都市を創出するため、新たな都市インフラ施設が整備されたが、六甲アイランド線はその根幹的な施設となるものである。総延長4.5km、その間に6駅を擁する一大プロジェクトであり、周辺景観との調和を図り、美しい景観の創出に努めつつ事業完成にこぎつけたことなどが評価された。



アイランドセンター駅、リバーモール付近より望む

事業の効果

六甲アイランド線は、六甲アイランドと既成市街地を結ぶ唯一の公共交通機関として非常に重要な役割(平成8年度1日当り利用者：28,753人)を果たしている。島内の恒久住宅への人口定着や、神戸ファッションプラザ・神戸ファッション美術館等中核施設のオープン、神戸市立六甲アイランド高校の開校等により、利用者は漸次増加の傾向にある。また、島内には多くの未開発用地が残っており、今後さらなる利用者の増加が見込まれており、その事業効果は、ますます大きくなるものと思われる。



緑豊かな六甲山をバックにした六甲ライナー



六甲大橋を走る六甲ライナー



六甲アイランド内を走行する六甲ライナー

事業のあらまし

神戸市総合基本計画に基づき、神戸市が東部海面上に造成した第2の海上文化都市「六甲アイランド」と既成市街地とを結ぶ足の確保とともに、東部地域における南北交通を補完し、東部地域全体の都市機能の向上に寄与することを目的として、神戸市と神戸新交通株式会社と一体となって建設した。

システムはポートアイランド線で実績を積んだ無人運転を基本に、更に建設費の低廉化と運営の効率化を目指したものである。

- 開業：平成2年2月21日
- 営業区間：JR住吉駅～阪神魚崎駅～六甲アイランド (全6駅)
- 営業キロ：4.5km (全線複線、高架構造)
- 車両編成：1列車4両編成
- 車両定員：両端車54人/両、中間車60人/両
- 運行速度：最高63km/h、表定27km/h
- 全体事業費：41,907百万円
- うち街路事業費：8,888百万円